

授業科目名	看護英語	担当教員	大山中勝
選択	開講年次：2年前期	単位：1単位	授業形態：演習 30 時間

【授業概要】

看護の臨地実践に必要な用語や表現、日常英会話能力を身に付け、対象者の文化的背景を考慮した態度やマナーを持って振舞う能力を取得する。

【授業目的・目標】

1. 臨地実践に必要な用語を英語で表現できる。
2. 臨床における簡単な日常英会話理解でき、相手に自分の意図を理解してもらえる。
3. 異文化の対象者の文化的背景を考慮した態度を身に付ける。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] Introduction
- [02] Getting to Know the Patients 1
- [03] Getting to Know the Patients 2
- [04] Getting to Know the Patients 3
- [05] Getting to Know the Patients 4
- [06] Examination 1
- [07] Examination 2
- [08] Instructing Medication
- [09] Treating the Patients 1
- [10] Treating the Patients 2
- [11] Treating the Patients 3
- [12] Operation
- [13] Pregnancy
- [14] In the Hospital
- [15] Emergencies

【教科書】

竹林修一編著他（2014）実践看護英語－専門用語の習得と英会話能力の養成－，英宝社

【参考書】

指定なし

【評価方法・評価基準】

- 授業参加リフレクションレポート（15%）
- 筆記テスト×1（50%）
- 小テスト×5（25%）
- 課題×2（10%）

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された課題について事前に調べておくこと。

事後学習：講義資料を基に学習内容の復習、課題の記述を行うこと。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ．教養教育で培う普遍的基礎能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートについては授業中に傾向について示し、フィードバックを行う。

【備考】